

石川森林管理署

担当者
森林技術指導官：原田政幸
地域林政調整官：川村直樹
TEL:050-3160-6100

- 石川県の森林は、能登地域では、半島中北部の比較的緩傾斜な低山性山地・丘陵地とやや急峻な石動・宝達山地に分布し、加賀地域では、白山（2,702m）を最高峰として北・西の二方向に広がる比較的急峻な加越山地とその麓の標高200m以下の丘陵地帯に広く分布しています。県土の68%（286千ha）が森林であり、このうち国有林は34千haあります。
- 民有林では、戦後の拡大造林の積極的な推進により、これまでに100千haの人工林が造成され、人工林率が4割となっています。一方、奥地にある国有林の人工林率は6%と極めて低く、保安林、国立公園、国定公園などに指定され、国土保全、水源かん養等の公益的機能の発揮に寄与しています。
- 石川県との地域林政連絡会議では、民有林直轄治山事業、海岸林整備、木質バイオマス等の木材の安定供給及び二ホンジカによる森林被害等に係る生態系保全に向けた民国連携の必要性について情報提供を行うとともに、石川県からは、森林・林業施策に係る予算の概要、民国共同施業のための現地情報の把握について説明を受け、民国連携の取組に向けて意見交換を行いました。
- 森林管理署が間伐等事業を実施している白山市、小松市と地域林政連絡会議を開催し、各市の林業施策の概要、地域課題等について幅広く情報を共有し、意見交換を行いました。なお、それぞれの市が抱えている木材の安定供給等の地域課題については、民国が連携した取組について検討を行っていくこととしています。



(石川県との地域林政連絡会議の様子)

森林生態系の保全

【課題1】二ホンジカの適正管理（新規）

【取組状況】

- ・ 石川県白山自然保護センターと「白山国立公園等における自動撮影カメラを用いた哺乳類の生息に関する共同調査確認書」を締結し、二ホンジカ等の生息状況について共同で調査を実施。
- ・ 26年度生息状況調査の中間、最終報告毎に、関係機関で意見交換を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 二ホンジカによる被害発生件数は他県と較べ少ないが、雌鹿を含めて活発に行動する個体を発見する機会が確実に増加している実態を共有した。
- ・ 本県では有害鳥獣に指定されていないが、生息状況の正確な把握が必要ことから、今後も継続して関係機関が連携した情報共有や意見交換に取り組む。

【課題2】広域的な猛禽類の保護・管理

(継続)

【取組状況】

- ・ 石川県と猛禽類調査の計画等について意見交換を実施。
- ・ 垂水国有林周辺で猛禽類の行動や営巣木の調査を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 垂水国有林付近におけるクマタカの生態が明らかになり、繁殖のためにも必要な森林整備の実施が可能となった。
- ・ 今後は県等と一層連携し、より広域的で的確な情報把握に努める。



(自動撮影カメラで撮影された二ホンジカ)

林産物の安定供給

【課題】木質バイオマス利用等に伴う木材需要の増加への対策

【取組状況】

- ・ 県、森林組合、関係自治体等と木材の安定供給に向けた合理的な施業方法について、継続的に意見交換を実施。
- ・ 急傾斜地での集材における多様な作業システムを検討するため、石川県森林林業振興協議会が主催する「間伐材の架線集材作業の視察研修」に国有林（岐阜署）のフィールドを提供。
- ・ 六万山国有林において、年間約500m³の素材生産を行い、このうち約250m³をバイオマス燃料用として供給。

【成果と今後の課題】

- ・ 民国が連携した森林整備等の取組について、県、森林組合、関係自治体等との合意形成を実施。
- ・ 架線集材技術の現状、課題等について関係者間で情報共有を実施。今後、架線系と車両系を組合せた現地に即した作業システムの構築に向け検討が必要。



(架線集材作業の視察研修の様子)

技術開発と普及

【課題】 効率的な海岸林整備の技術向上と普及（継続）

【取組状況】

- ・ 松くい虫防除対策や森林整備等の今後の海岸林造成について、石川県農林総合研究センター林業試験場（以下「林業試験場」という）と連絡調整及び情報共有を実施。
- ・ 安宅林国有林内の試験地において、クロマツ林の密度管理に係る生長量調査を林業試験場と合同で実施。
- ・ 第66回全国植樹祭りレー植樹を国有林（海岸林）が所在する小松市、加賀市において実施。
- ・ 教育機関との連携により抵抗性クロマツの植樹や地元間伐材を利用した丸太切り等の体験学習を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 加賀海岸国有林の高密度に天然下種更新したクロマツ林において、平成25年度森林・林業交流研究発表会の成果を本数調整伐に反映させて列状により実施。
- ・ 森林環境教育や全国植樹祭関連イベント等により、国有林（海岸林）のPRを実施。
- ・ 今後、効率的な海岸林整備の技術開発と普及に向け、林業試験場との合同試験の継続により試験成果の蓄積や新たな技術開発及び植樹体験や森林教室等のイベントや現地検討会の開催による普及啓発を予定。



（高密度に植生するクロマツの様子）



（列状に本数調整伐を行った様子）



（全国植樹祭りレー植樹；加賀市）



（森林教室の様子：加賀市立黒崎小学校）

治山対策の推進

【課題】 民有林・地域と連携した治山対策の推進（継続）

【取組状況】

- ・ 民有林で発生した大規模な山腹崩壊について、石川県からの要請により民有林直轄治山事業による復旧事業を実施。
- ・ 石川県との治山事業連絡調整会議等により、国有林、民有林間の事業の調整及び情報の共有を実施。
- ・ 白山市白峰地区の治山事業実行箇所において、県・自治体を対象とした現地説明会を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 民有林直轄治山事業による復旧事業により、地域の安全・安心の確保に寄与。
- ・ 国有林、民有林が近接している地域において、一体的な全体計画を作成し、国有林と民有林、治山事業と砂防事業が連携・協力して効率的・効果的な荒廃地の復旧整備を実施。
- ・ 現地説明会やホームページ等で治山事業の重要性や効果等の情報発信により関係機関等の連携・協力を得ることができ、今後、関係機関協議に基づく適切な事業企画を立案予定。

<白山市白峰地区の復旧の様子>



（S60年頃の荒廃山地の様子）



（山腹工、溪間工施工後の現在の様子）



（地元自治体等への説明の様子）



（石川県を交えた技術検討会の様子）